

## 1-1 日本とその周辺の地震活動（2013年5月～10月）

### Seismic Activity in and around Japan (May - October 2013)

気象庁

Japan Meteorological Agency

今期間、日本とその周辺でM5.0以上の地震は72回、M6.0以上の地震は6回発生した。このうち最大のもは、2013年10月26日に福島県沖で発生したM7.1の地震である。2013年5月～10月のM5.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。

また、2000年1月～2013年10月の東海から四国にかけての深部低周波地震の震央分布を第1図(c)及び(d)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

#### (1) 北海道地方とその周辺の地震活動（本巻「北海道地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2013年7月16日23時09分に釧路沖の深さ47kmでM5.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

#### (2) 東北地方とその周辺の地震活動（本巻「東北地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2011年3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（M9.0、最大震度7）の余震が、前期間に引き続き、岩手県沖から茨城県沖にかけての震源域のほか、日本海溝の東側、福島県から茨城県の陸域の浅い場所でも発生した。

今期間にこの余震域で発生したM5.0以上の地震は25回、M6.0以上の地震は3回であった。このうち最大のもは、2013年10月26日02時10分に福島県沖で発生したM7.1の地震（最大震度4）である。

この地震の発震機構（CMT 解）は東西方向に張力軸を持つ正断層型で、日本海溝の東側（アウターライズの領域）の太平洋プレート内部で発生した地震である。この地震により津波が発生し、宮城県の石巻市鮎川で36cmなど、岩手県から福島県にかけての沿岸で津波を観測した。また、この地震により負傷者1人の被害が生じた（10月26日現在、総務省消防庁による）。

#### (3) 関東・中部地方とその周辺の地震活動（本巻「関東・中部地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2013年9月4日09時18分に鳥島近海の深さ445kmでM6.8の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生し、発震機構（CMT解）は、太平洋プレートの傾斜方向に圧力軸を持つ型である。

#### (4) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（本巻「近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2013年8月30日17時32分に和歌山県南方沖の深さ12kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。発震機構は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震であった。

(5) 九州地方とその周辺の地震活動（本巻「九州地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

2013年10月3日13時13分に奄美大島近海でM 5.1（最大震度3）の地震が発生した．この地震の発震機構（CMT解）は，西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった．

(6) 沖縄地方とその周辺の地震活動（本巻「沖縄地方とその周辺の地震活動」の頁参照）

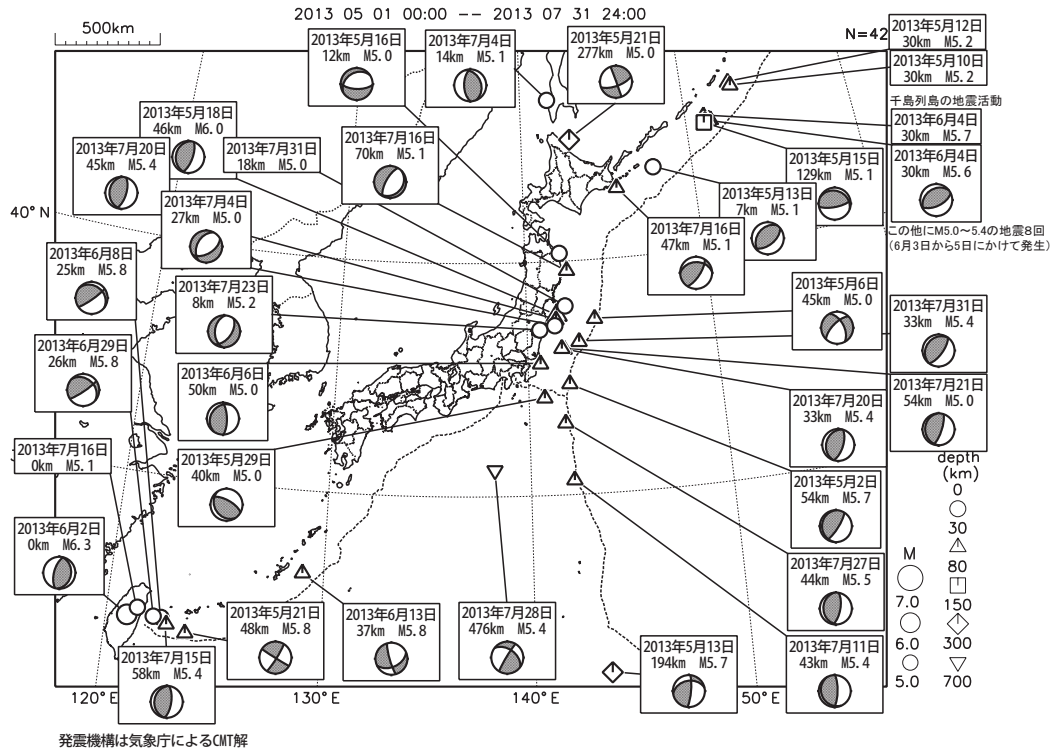
2013年10月31日21時02分に台湾付近（台湾中部東岸）でM6.5の地震が発生した．発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ型であった．この地震により，台湾で負傷者1人の被害が生じた（10月31日現在，台湾内政部消防署による）．1970年以降の活動では，今回の地震の震央付近では，M6クラスの地震が時々発生している．

なお，本巻の気象庁作成資料では，特段の断りがない限り，独立行政法人防災科学技術研究所，北海道大学，弘前大学，東北大学，東京大学，名古屋大学，京都大学，高知大学，九州大学，鹿児島大学，気象庁，独立行政法人産業技術総合研究所，国土地理院，青森県，東京都，静岡県，神奈川県温泉地学研究所，横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構のデータを基に作成している．

また，東北大学の臨時観測点（夏油，岩入，鶯沢），IRISの観測点（台北，玉峰，寧安橋，玉里，台東）のデータを利用している．

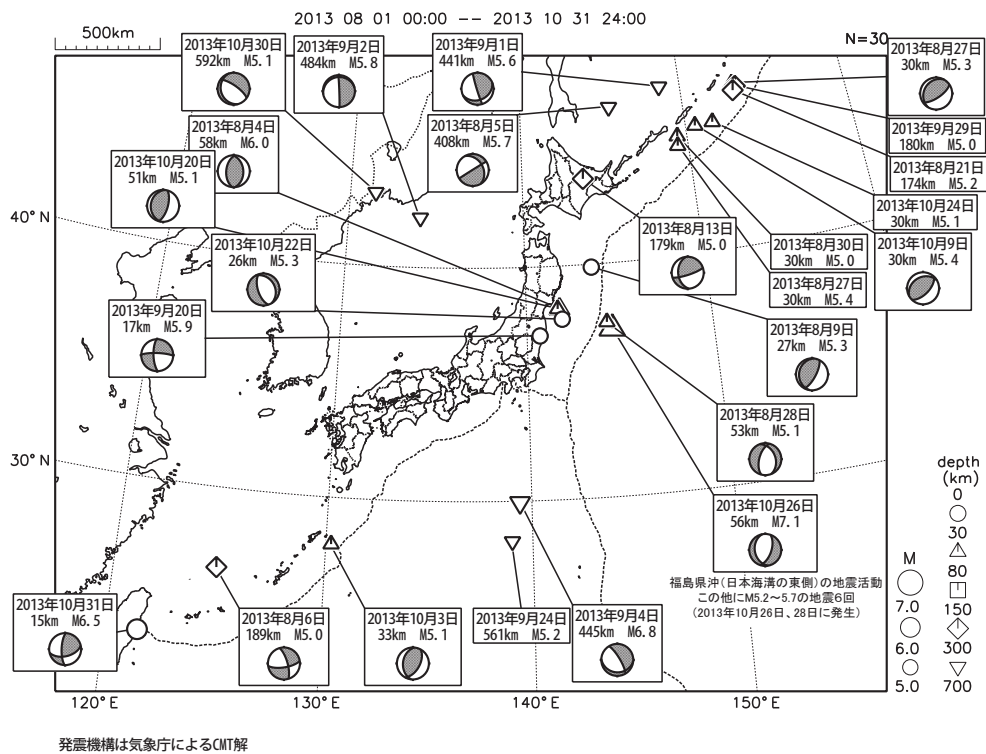
このほか，平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震大学合同観測グループの臨時観測点（滝沢村青少年交流の家，宮古茂市）のデータを利用している．

日本とその周辺の地震活動 (2013年5月～7月、 $M \geq 5.0$ )



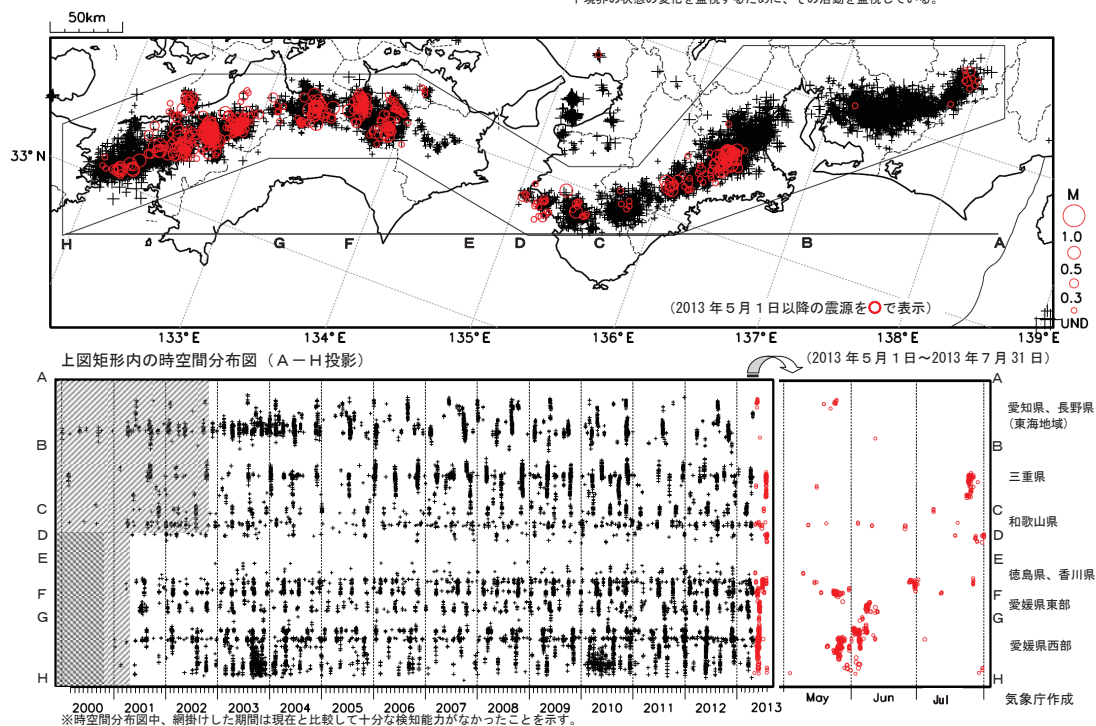
第1図(a) 日本とその周辺の地震活動 (2013年5月～7月、 $M \geq 5.0$ , 深さ $\leq 700$ km) .  
Fig.1(a) Seismic activity in and around Japan (May - July 2013,  $M \geq 5.0$ , depth $\leq 700$  km).

日本とその周辺の地震活動 (2013年8月～10月、 $M \geq 5.0$ )



第1図(b) つづき (2013年8月～10月、 $M \geq 5.0$ , 深さ $\leq 700$ km) .  
Fig.1(b) Continued (August - October 2013,  $M \geq 5.0$ , depth $\leq 700$  km).

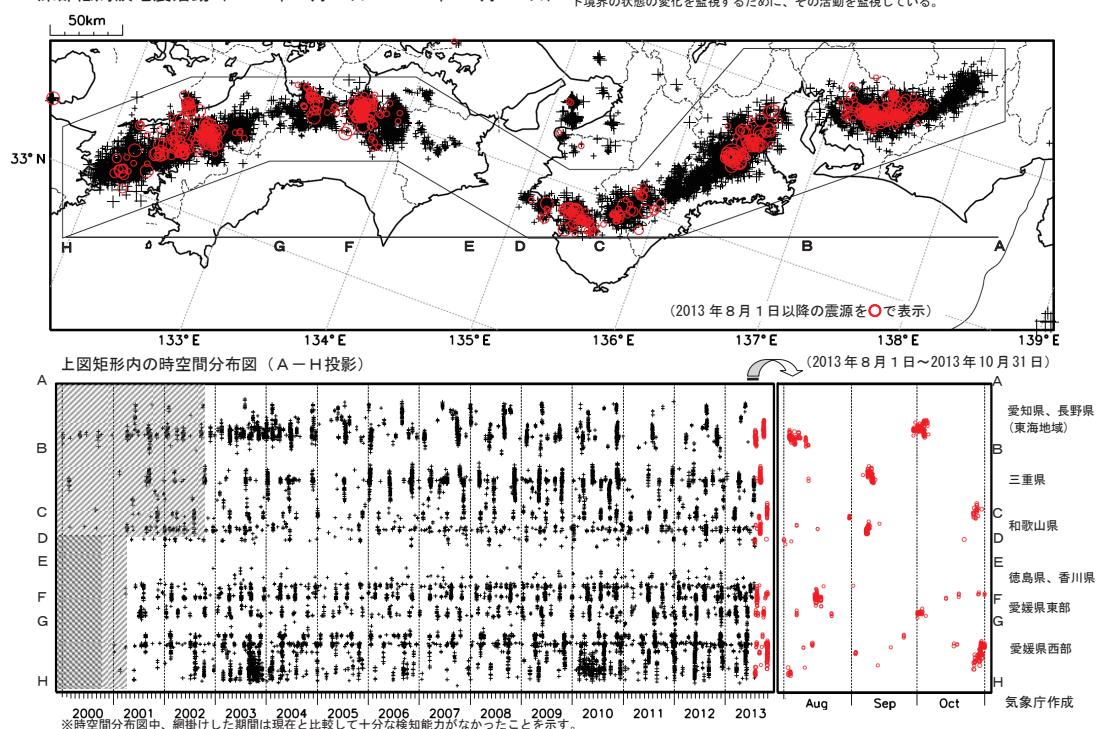
深部低周波地震活動（2000年1月1日～2013年7月31日） 深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



第1図(c) 東海地域から豊後水道にかけての深部低周波地震活動（2000年1月～2013年7月、深さ $\leq 60$ km）。

Fig.1(c) Seismic activity of Low-Frequency Events from the Tokai region to the Bungo Channel (January 2000 - July 2013, depth $\leq 60$  km).

深部低周波地震活動（2000年1月1日～2013年10月31日） 深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



第1図(d) つづき（2000年1月～2013年10月、深さ $\leq 60$ km）。

Fig.1(d) Continued (January 2000 - October 2013, depth $\leq 60$  km).